1. 研究背景

大学で保育を学ぶ中で、より多くの保育を知りたいと思い、サイトの作成に至った。保育は対人の仕事である以上、実際の様子を公開する際には、プライバシーの問題がのしかかってくる。そのため、保護者のみに公開するケースも多く、一般人だけでなく、保育者ですら他園の様子を見ることが難しい。また、業務が増えてしまうことは、手が離せないことが多い保育にとって致命的である。実際に園長とお話する機会があったが、保育を共有したり、合同保育を行うのは系列園に留まっているとのことだった。理由を聞くことはできなかったが、お話していく中で、部外者に対する保育の可視化について特にメリットを感じていないという印象を受けた。これについては、匿名アンケートなどを通して調査をする。

　つまり私は、各園の情報が統一されたサイトを提供することによって、地域的にもネット上でも離れている保育をひとつのコミュニティにまとめ、より簡単に他の保育を見ることが出来るようにしたいと考えている。

　先行研究について、「保育の可視化」というキーワードで調べたところ、保護者向けの内容がほとんどであり、部外者に向けた可視化についての類似サイトはなかった。しかし、保育所（沖縄県のみ）のwebサイトの内容についての論文があったため、それを参考にしつつ、改めて調査を行いたいと考えている。その他には、保育士転職サービスであったり、保育業務改善のサイトは多くみられた。しかし、部外者に対する保育の可視化を目指すサイトを見られなかった。また、部外者に向けた可視化を目指すため、プライバシーの問題の解決が必須となる。そのため、法律や論文の調査だけでなく、システム面でのセキュリティにも力を注ぐ必要がある。

　利用者がいなければ、メリットがない制作になってしまうが、利用する施設が増えれば増えるほど、保育士の価値向上ひいては給与改善を図ることが出来る。保育の様子がより一般に広まれば、仕事の大変さや専門性の高さを伝えることができ、世間的なイメージの変化によって保育士にブランド力を付与することが出来る。

　また、部外者が実際の保育を知ることで、就職や転職、子どもの園選びなどの選択肢が広がり、保育所の人気の差が顕著に表れ始める。その結果、地域によっては閉園せざるを得ないところも出てくるため、保育所は保育の質向上や差別化を図らざるを得ない。その結果、経験豊かであったり、資格をもっていたりと、保育士プラスアルファの能力を持った人材が育つ。保育所は、そのような人材を失いたくないため、給与改善や育休制度を豊かにしていく。反対に、いい保育士を雇うために、待遇を良くして転職者の受け入れを積極的に行う。さらに、給与改善によって、保育士を志す人間が増える。それはつまり、保育を学ぶ学校の倍率が高くなり、一般科目の学力も必要になってくる。話が飛躍しすぎているようにも思うが、最終的には保育士の価値をあげたいという思いからこの制作を行う。その第一段階として、部外者に対する保育の可視化が必須になると考える。

２，研究目的

保育士や実習生・保護者・行政が、保育の様子や内容をより簡単に見えるようにする。

1. 研究方法

サイト作成、類似サービスの調査、アンケート調査、プライバシーについて。

1. 期待される成果

・保育士の価値向。

・保育の就職先の選択肢を増やす。

・転職を容易にすることで、保育士の給与改善。

5、参考文献

「沖縄県内私立保育園Webサイトの現状に関する一考察」望月, 道浩; 天願, 順優（2021-9-1）